

English follows Japanese

わたしたちが信じていること：神の有効な召命

ローマ人への手紙 8:28-30

今日はまず私たちが今まで見てきたことを振り返りましょう。神の御言葉は神が三人格のはっきりと区別された位格の一つの神である三位一体としてあられる私たちの主権者なる神である事を示しています。

御言葉は、世の始まりの前に神の聖定として定められた神の被造物の救いのための明らかにされる神の御計画を示してくれます。なぜ神がこの御計画を命じられ、制定されるかの理由は、罪の中に死んでいるため神から離れてしまい失われた被造物である私たち人間であることを聖書は私たちに明らかにしてくれます。そして、さらに深く掘り下げ神のそれらの罪深い被造物の贖いのための神の御計画が恵みの契約を通してなされたことについて聖書は何を示してくれたかを見て来ました。そして、その恵みの契約はその契約を仲介してくださるイエス・キリストによって成り立つのです。つまり、イエスの死、埋葬、と復活によって私たちが神の恵みに与かることを可能にしたのです。今日、キリストが救いを可能と成されたことを制定されたことによって、神が人を救われる実際の過程を見ます。これは神の有効的召命に基づいています。私たちはこの有効的という言葉の特に用いている理由は神の救いへの召は意図された結果、人の救いを生み出すからです。

バプテストの歴史は二つの異なったバプテストの教派を含みます。一つはカルバン派バプテストともう一つはカルバン派の神の予定説に反対するアルミニウス派バプテストです。バプテストの歴史を通して、この二つの教派のそれぞれの教会と宗派はそこそこ互いに友好的でした。1845年にアメリカ合衆国で南部バプテスト連盟が組織された時、最初の指導者たちは全員が神学的に予定説と恵みの契約をしっかりと信じるカルバン主義者でした。しかしながら、早い段階で南部バプテストは予定説に反対するゼネラル・バプテストの見方を取り入れ変わっていききました。そして、20世紀には南部バプテストにはカルバン主義の影響はごく小さくなっていました。その南部バプテストの世代は、とくに第二次世界大戦後日本でのバプテストの成長に非常に大きな影響を残しました。この二つの教派の影響を考慮して、南部バプテスト連盟は今日私たちが話しているトピックである人の自由意志と神の救いへの有効な召命のよりカルバン主義的な理解から最もカルバン主義的ではない理解、双方を幅広く受け入れるために意図的にバプテスト信仰声明を対応可能に作っています。ここで聖書がなにを教えているかをお見せしたいのですが、今日の説教の後、他人を説得するために私たちの信じている神学に没頭するよりも神が救いのための神の召命を宣べ伝えるよう私たちに託された福音のメッセージのためにもっと胸を高鳴らせてください。

数週間前に神の命令と予定説を論議した時、最後にローマ人への手紙28章28節を話し合って終わりました。

神の召命について話し合うのに今日はここから始めたいと思います。ローマ人への手紙8章28-30節を読みましょう。ローマ人への手紙 8章28～30節

28. 神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。29. 神は、あらかじめ知っている人たちを、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたのです。それは、多くの兄弟たちの中で御子が長子となるためです。30. 神は、あらかじめ定めた人たちをさらに召し、召した人たちをさらに義と認め、義と認めた人たちにはさらに栄光をお与えになりました

祈りましょう。

私たちはローマ人への手紙8章28節の素晴らしい神の約束があります。神は、神が召した人のために、全てが益となるようにご自身が働かれています。神は御自身の目的に沿って、栄光のために成されます。これらの三つの短い聖句はその救いに必要な神の召命の最も重要な概念を説明しています。しかし、その召を説明するにあたり、今まで私たちが話してきたほとんど全ての重要な教理はこれらの言葉に前提とされ含まれます。これらの真理の全ては、私たちの救いをも

たらずために互いの上に建てあげられます。そして、重要な事実はそれらは全て神の成されたことであるということです。最初に神の定められた予定説を見て行きます。29節は言います。神は、あらかじめ知っている人たちを、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたのです。この神の定めに基づいた陳述の後、予定説の目的とそこに暗示されている神の恵の契約を見ます。29節は続きます。それは、多くの兄弟たちの中で御子が長子となるためです。神の恵の契約は、先週見たように、人と彼らの創造主を引き合わせることでできる唯一のお方、イエス・キリストの人格を中心としています。イエスは私たちの仲保者です。イエスを通して私たちは神の子の一人となります。私たちは私たちの契約の頭としてアダムに従う代わりに、私たちの新しい頭であるイエス・キリストの義に倣い従っているのです。ここで暗に伝えられているのはもちろん人は罪のために墮落しているのを救い主を必要としていることです。

もちろん、もうすでにこれらのことについては学んできました。しかし私たちの墮落のために自分自身を救うことができないために、キリストを私たちの救い主であると受け入れることと、神が予定説で神が私たちを救われることの間ステップが欠けています。そのステップが神の有効的召命です。ロンドン信仰告白の10章の1項23ページにこの召命はこのように記されています。

第二ロンドン信仰告白：

第十章 有効な召命について

1. 神が生命に予定した人々を、神は自ら定めまた承認した時に、神のみことばと御霊によって（ローマ 8:30; 11:7; エペソ 1:10, 11; 2テサロニケ 2:13-14）生れながらいた罪と死の状態から、イエス・キリストによる恩恵と救いへと（エペソ 2:1-6）有効に召すことをよしとされる。彼らの心が神のことを理解するように、霊的にまた救済的に照し（使徒 26:18; エペソ 1:17-18）、彼らの石の心を取り去って（エゼキエル 36:26）肉の心を与え、彼らの意志を新たにし、神の全能の力によって彼らを善に向かうように決断させ（申命記 30:6; エゼキエル 36:27; エペソ 1:19）、また有効的に彼らをイエス・キリストに引きよせる。しかも彼らは神の恩恵により自発的にされて、最も自由に来るのである（詩篇 110:3; 雅歌 1:4）。

これらはローマ人への手紙8章30節を前回の説教で学んだ28-29節に加えると見ることができます。こう書かれています。神は、あらかじめ定めた人たちをさらに召し神があなたに召命を与えなければ、あなたは救われません。私たちが自分たちの罪の中に死んでいることを思い出してください。私たちの仲保者であるイエス・キリストへ私たちが信仰によって応答するためには超自然的な奇跡を要します。ですから、聖霊なる神は、私たちが神の召命に応答するように私たちの心を動かします。改革派は過去にこの教理を定義し、歴史的にそれを抗し難い恵みと呼びました。しかし、これは誤った印象を与えてしまいます。それはまるで、私は救われたくない。神の恵みを体験したくない、と言う人を神が彼らを引きずってでも救われるようです。ここで起こることはそうではありません。私たちは罪に死んでいる者でありキリストに従うことを選ぶことができないため、聖霊が神が救いのために選ばれた人のうちに働かれ、彼らがイエス・キリストの信仰を持つことができるように、彼らを再生するのです。テトスへの手紙3章5-6節は言います。テトスへの手紙 3章5~6節 5. 神は、私たちが行った義のわざによってではなく、ご自分のあわれみによって、聖霊による再生と刷新の洗いをもって、私たちが救ってくださいました。6. 神はこの聖霊を、私たちの救い主イエス・キリストによって、私たちに豊かに注いでくださったのです。

その聖霊の働きのみによって、神の救いのため召命は実際の信仰につながります。しかし、神が選ばれた全ての者に関しては、間違いなく神の召命は信仰をもたらします。神のなさっている御業なので疑いの余地はなく、神の御業は人の側の条件付きではありません。聖霊による神が選ばれた人たちの心の再生の働きによって、私たちは神の召命は人々をイエス・キリストの信仰へと有効に引き寄せる言います。

そこで、疑問は、人に自由意志はどうなったのかということです。この疑問が詰まるところカルバン派とアルミニウス派の歴史的な不一致点です。それがカルバン派とアルミニウス派の議論の中心にあります。私の信仰において、私自身の役割は何なのでしょう。バージニア州の福音派

キリスト教学校のリバティー大学の創設者の一人であり長年神学部学長でもあったエルマー・タウンズ博士は人の救いにおける自由意志の役割を熱烈に擁護するために執筆しました。彼はこう書いています。もちろん、神は選ばれ、予定され、計画されます。それは線路のレールの一つです。列車が走るためには二本のレールが必要です。もう片方のレールが神の最高な複合被造物であり、神が御子のように高められる人です。人は自由選択の能力が与えられています。人の自由が信仰と山をも動かす能力に命と力を与えるのです。ちょっと聞くととても耳触りがいいと思いませんか。タウンズ博士はとても優れた聖書学者であり神の御言葉に忠実であることを願う人でした。彼は神の絶対的主権とキリストに従うための私たちの自由意志との間のバランスを取ろうと努力していたのです。しかしながら、彼の見方は聖書に突き合わせて調べると不十分でした。

ローマ人への手紙 3章10~11節 は語ります、次のように書いてあるとおりです。「義人はいない。一人もいない。11. 悟る者はいない。神を求める者はいない。誰一人として神を求めないのは私たちが霊的に死んでいるからです。」

コロサイ人への手紙 2章13節 は言います。背きのうちにあり、また肉の割礼がなく、死んだ者であったあなたがたを、神はキリストとともに生かしてくださいました。私たちのすべての背きを赦し、注目していただきたいのは、私たちが信仰によって神に応答して、赦しに与るには神によって生かされなければなりません。もうすでに見たように、聖霊の御業によって再生されることによって可能となります。ロンドン信仰告白は私たちが神にかたどられて造られているので神は私たちに自由意志を与えられたと第9章1項で認めています。第九章 自由意志について 1. 神は、人間の意志に自己の選択に基づいて行動する本性的な自由や力を附与された。確かに私たちには自由意志と選択する能力が与えられていますが、信仰告白9章3項は、私たちの選択を制限する私たちの罪の存在を指摘しています。私たちには神または救いに関すること全てを先に読んだローマ人への手紙3章が語るように選ぶことができなくなっているのです。信仰告白は言っています。

第九章 自由意志について

3. 人間は罪の状態に墮落することによって、救いを伴ういかなる霊的善への意志のあらゆる能力を失ってしまった（ローマ 5:6; 8:7）。そこで生まれながらの人間として、その善に全く反対し、罪の中に死んだものとなったので（エペソ 2:1, 5）自力では回心したり、その備えをすることはできない（テトス 3:3-5; ヨハネ 6:44）。

つまり、私たちには私たちの罪によって制限された、神の主権による聖定の下に働く実際の自由意志があるのです。しかしながら、聖霊の新生がなければ神の召命に応答することは許されません。この他に神の有効的召命について語ることができます。ロンドン信仰告白の声明全体を読むと、この考えに関連する他の論点に取り組んでいます。ここで取り上げられている全てに言及することは控えますが、私はこの適用を乳児として死んでしまう子にまで広げることには完全には同意できません。

救いは完全に神よるので、そこには希望があることを信じています。私たちは神の恵みと憐れみがまだ生まれてきていない罪の意識も持たない胎児にも与えられている信じています。聖書は明確に示してはいませんが、たとえ私たち同様、罪に生まれていても子供たちには神の特別な愛着があることは幾つもの慰めとなる聖句に見ることができます。ダビデ王は彼のバトシェバとの罪の罰のため死んだ彼の男の赤ちゃんに彼は天で再び会うことができると約束されています。イエスはマタイの福音書19章14節で、弟子たちに伝えました。**マタイの福音書 19章14節** **しかし、イエスは言われた。「子どもたちを来させなさい。わたしのところに来るのを邪魔してはいけません。天の御国はこのような者たちのものなのです。」**

私たちは常にどの教理の真理にもだからどうなのかと問うべきです。

それで、この有効的召命はキリストに従う者としてどう言う意味があるのでしょうか。この考え方に反対の者は、それが真実なら福音を宣べ伝える動機を失うと言います。もし、私たちと全く無関係ならば、誰も証しをすることも福音を分かち合うことをしないと良いでしょう。全く反対です。確かに救いは完全に神の御業ですが、福音を広めることは私たちに託されています。これが聖書の明確なメッセージです。神は旧約聖書の地上でイスラエルに神のために光となることを望まれました。神はいまだに彼の民、その教会に神のために現在、地上の光となることを望まれ

ています。ローマ人への手紙10章は救いは神の御業と認めて始まりますが、続いて私たちが世に福音を伝えるよう召されていると示しています。ローマ人への手紙 10章13~17節

13. 「主の御名を呼び求める者はみな救われる」のです。

14. しかし、信じたことのない方を、どのようにして呼び求めるのでしょうか。聞いたことのない方を、どのようにして信じるのでしょうか。宣べ伝える人がいなければ、どのようにして聞くのでしょうか。

15. 遣わされることがなければ、どのようにして宣べ伝えるのでしょうか。「なんと美しいことか、良い知らせを伝える人たちの足は」と書いてあるようにです。16. しかし、すべての人が福音に従ったわけではありません。「主よ。私たちが聞いたことを、だれが信じたか」とイザヤは言っています。17. ですから、信仰は聞くことから始まります。聞くことは、キリストについてのことばを通して実現するのです。

そうです、神は究極的に救いのために選ばれた者をご存知です。しかし、その人たちは神の御言葉から来る福音を聞く必要があります。それは、聖書のメッセージであり、ローマ人への手紙10章17節はキリストの御言葉で聖霊がその人をキリストの信仰へと導くと言っています。神は彼の民を用いられ御言葉である福音を神が新生し贖うために選ばれた人たちに届けます。私たちが真に再生されているならば、マタイの福音書28章19節で与えられている大宣教命令に従う必要があります。マタイの福音書 28章19節 ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。神の主権と救いのための神の選定を最も信頼する私たちは、たとえ私たちの知恵や力や能力や説得力のある議論は実際その人をキリストへ向かせることができず、彼らの生涯での聖霊の御業のみがそれができると理解していても、恐れずに熱意を持ってキリストを分かち合うべきです。私たちの救いの教理はキリスト・イエスのうちの神の御業にのみ基づいており、私たちのうちの何も他の人たちに私たちを罪から救った栄光の福音を伝えることを目指す最も謙虚で忠実なキリストの信者にする事ができません。いまだかつて存在した最も偉大なバプテスト牧師の一人であるチャールズ・ハッデン・スパージョン牧師は彼の神の主権と恵みの教理の理解に関して極めて明快でした。

彼は言いました。私は個人的な意見として、キリストと彼の十字架での死を説教することはカルバン主義と昨今呼ばれている事を説教することです。カルバン主義とは呼び名ですが、カルバン主義は福音以外何者でもありません。さまざまな記述で彼は色々な言い方をしていますが、スパージョンははっきりと神の無条件の選びと完全な主権を信じて、こうも言っています。もし、神が選ばれた人それぞれの背中に焼印を押されたなら、私はシャツの裾をあげて周り、誰が選ばれているを見つけ出し、キリストに導きます。これこそ私たちの姿勢であるべきです。しっかりと神学的理解を持ちましょう。しかし、他の人たちをキリストに向かせるための働きをしましょう。私たちの努力ではなく、私たちを通しての神の御業であることを知りながら。神は救いの目的を果たされるため、そして人がイエス・キリストの福音を知るようになる事をあなたと私を通して働かれることを 選ばれました。神の御旨と御心は必ず起こります。神の召命は神が御自身のために選ばれた人たち全員に対して効果的であり有効的です。神が私たち神の僕を神が私たちの歩む道に届けられる人たちに神のメッセージを分かち合うために用いられますよう。祈りましょう。

What We Believe: God's Effectual Call – Romans 8:28-30

Let's begin today, by looking at where we have been so far. God's Word reveals to us a Sovereign God, who exists as a Trinity – 3 distinct persons in one God. It reveals to us God's unfolding plan for the redemption of his creation that he has established by his decree before the world ever began. The Bible also reveals that the reason why God needed to decree and establish this plan is that humans are broken creatures who are dead in our sin, which separates us from our Creator. Then we went deeper into seeing that what the Bible reveals about God's plan for redemption of these sinful creatures is done through a Covenant of Grace. And that Covenant of Grace is made possible by Jesus Christ who mediates for us that Covenant. In other words, he makes it possible for us to receive God's grace by his death, burial and resurrection. Today having established what Christ did to make salvation possible, we come to the actual process of how God saves people. It is based on his **effectual calling**. We use the word effectual specifically, because it means that God's call to salvation produces the intended result – a person is saved.

Baptist history contains two different strains of Baptists. One is Calvinistic Particular Baptists and the other is more Arminian General Baptists. For much of Baptist history these two groups get along more or less amicably in their various churches and denominations. When the Southern Baptist Convention formed in the United States in 1845, all of its first leadership was Calvinistic in their theology, holding firmly to predestination and the Covenant of Grace. However, early on, Southern Baptists would grow to include those with General Baptist views and by the 20th century there was little Calvinist influence in the SBC. It was that generation of Southern Baptists that has heavily influenced Baptist growth here in Japan, especially following World War II. Because of those two strains of influence in the Southern Baptist Convention, we have intentionally created a big enough tent in our Baptist Faith and Message to allow for both more and less Calvinistic understandings in the topic that we are discussing today - Man's free will and God's Effectual Call to Salvation. While I want to show what the Bible teaches, I want us to go away from this sermon today more excited for the Gospel message that God entrusts us with in proclaiming his call to salvation than convincing people of the theology that we hold to.

A few weeks ago when we discussed God's Decree and Predestination, we ended by discussing Romans 8:28. That is where I would like to pick up today in discussing God's call. **Let's read Romans 8:28-30 And we know that for those who love God all things work together for good, for those who are called according to his purpose. 29 For those whom he foreknew he also predestined to be conformed to the image of his Son, in order that he might be the firstborn among many brothers. 30 And those whom he predestined he also called, and those whom he called he also justified, and those whom he justified he also glorified.** Let's pray.

We have this wonderful promise in Romans 8:28, that God is working all things out for the good of those whom he has called. He does all this according to his purpose and for his glory. These three short verses explain this most important concept of God's call that is necessary for that salvation. But in explaining the call, almost every key doctrine that we have talked about so far is assumed and included in these words. All of these truths build on each other to bring about our salvation. And the important fact of each one is that they are all God's doing. **FIRST**, we see God's Decree of Predestination.

Verse 29 says, **For those whom he foreknew he also predestined**... After that statement based on God's decree, we see the purpose of that predestination and implied within it is God's covenant of grace. Verse 29 continues, **to be conformed to the image of his Son, in order that he might be the firstborn among many brothers**. God's Covenant of grace centers on the person of Jesus Christ, who as we saw last week is the only one who can bring humans together with their Creator. He is our mediator, and through him we become one of God's children. Instead of being conformed to Adam as our Representative Covenant Head, we are now conformed to the righteousness of Jesus Christ, our new representative. Implied within this of course is the fact that humans need a Savior because of the brokenness we find ourselves in because of our sin.

Of course, we've already been over all that. But because of our brokenness, which leaves us unable to save ourselves, there is a step missing between embracing Christ as our Savior and God's choosing of us in Predestination. That step is God's effectual call. In **Chapter 10 of the London Confession, section 1, page 22**, this call is described. **In his appointed and decided time, God effectually calls those whom he has predestined to life out of their natural state of sin and death to grace and salvation through Jesus Christ. He effectually calls them through his Word and Spirit. He enlightens their minds spiritually and savingly so they can understand the things of God. He takes away their heart of stone and gives them a heart of flesh. He renews their wills, and by his almighty power he gives them a desire to do things that are good. He effectually draws them to Jesus Christ, so that they come freely, since by his grace, he has caused them to be willing to come.** That is what we see when we include Romans 8, verse 30 with verses 28-29 which we have talked about in previous sermons. It says **those whom he predestined he also called**... Without God calling you to himself, you cannot be saved. Remember that we are dead in our sins. It takes a supernatural miracle for us to respond in faith to Jesus Christ who is our mediator. So God the Holy Spirit moves our hearts to respond in faith to God's call. In the way that the reformers defined this doctrine in the past, they historically called it "Irresistible Grace." This gives the wrong impression, though. It's as if there is a person who is saying, "I don't want to be saved...I don't want to experience God's grace towards me" And God is dragging them to salvation anyway. That is not what is happening. The Holy Spirit is working in the person that God chooses for salvation to regenerate them so they can have faith in Jesus Christ, since naturally we as a dead person cannot choose to follow Christ. **Titus 3:5-6 says, 5 he saved us, not because of works done by us in righteousness, but according to his own mercy, by the washing of regeneration and renewal of the Holy Spirit, 6 whom he poured out on us richly through Jesus Christ our Savior**... Only with that work of the Holy Spirit does God's call to salvation result in actual faith. But for all that God has chosen, it is definite that his call will result in faith. There is no doubt, because it is God that is doing the work, and his work is not subject to human conditions. It is because of this work of regeneration by the Holy Spirit in the hearts of those whom God has chosen that we say that God's call is effectual in drawing people to faith in Jesus Christ.

So, the question becomes, "Where is human free will in this?" This is the question that the historic differences between Particular and General Baptists came down to. It's the question that is at the heart of the debate between Calvinists and Arminians. What role do I play in my faith? Elmer Towns who cofounded Liberty University and was the Dean of the Seminary there for many years wrote very passionately defending the role of free

will in human salvation. He wrote, *Yes, God elects, God pre-determines and God plans. That's one rail of the track, but it takes two rails on which the train runs. The other rail is man, the awesome complex creation of God that He elevates to become like His Son. Man has the empowering ability of free choice. It's man's freedom that gives life and power to faith and the ability to move mountains.* That sounds good when you first hear it. And Dr. Towns is a very good Biblical scholar who desires to be faithful to the Word of God. He is attempting to balance God's absolute Sovereignty with our free choice to follow Christ. However, this view falls short when examined against Scripture. [Romans 3:10-11](#) says, [As it is written: "There is no one righteous, not even one; there is no one who understands; there is no one who seeks God.](#) The reason no one seeks God is because we are spiritually dead. [Colossians 2:13](#) says, [And you, who were dead in your trespasses and the uncircumcision of your flesh, God made alive together with him, having forgiven us all our trespasses](#)... Notice that it takes God to make us alive to be able to respond to him in faith and find forgiveness. It is the work of the Holy Spirit in regeneration that enables this as we have already seen.

The London Confession recognizes in Chapter 9, paragraph 1 that as part of the image of God in humans, God does give us [a will with natural liberty and the power to act upon choice](#). But although we do have a free will and the ability to make real choices, [paragraph 3 of chapter 9](#) of the Confession points out that due to presence of sin, that choice is limited by our sin. We are unable to choose anything related to God or salvation, which is what we read earlier in Romans 3. The Confession says, [After the fall into sin, humanity lost the ability to choose anything good related to salvation. In their natural state, they are completely hostile to everything good and dead in sin. By their own power, they are unable to convert themselves or prepare themselves for conversion.](#) So, we have real free will that is limited by our sin and operates under the Sovereign decree of God. But it takes the regeneration of the Holy Spirit to allow us to respond to God's call.

There are other aspects of God's effectual call that we could talk about, and if you read through the entire statement in the London Confession, they address other issues that are related to this idea. I don't really want to deal with everything that is covered, but I will say that I'm not sure that I completely agree with extending the application to babies who die in quite the same way they do. I do know that there is hope in the fact that since salvation is completely of God, then we can trust in God's grace and mercy to extend that grace even to those who are unborn or do not yet have awareness of their sin. I believe that although the Bible is not explicitly clear, there are very comforting passages to see that children hold a special place in God's heart, even though they, like us, are born in a state of sin. King David is promised that he would see his baby son again in Heaven who died as punishment for his sin with Bathsheba. Jesus told his disciples in [Matthew 19:14](#), ["Let the little children come to me and do not hinder them, for to such belongs the kingdom of heaven."](#)

We should always ask the question of any doctrinal truth...so what? So, what does this doctrine of effectual call mean for us as followers of Christ? Those who oppose this idea say that if it is true then we lose all incentive to proclaim the gospel. That if it has nothing to do with us, then they say no one would ever witness or share the gospel. On the contrary, although the work of salvation is totally of God, the spread of the gospel is committed to us. This is the clear message of the Bible. God wanted Israel to be a light for him on the earth in the Old Testament and God still wants his people, the church to

be a light for him on earth now. Romans 10 begins by recognizing that salvation is an act of God, but goes on to show that we are called to take that gospel to the world. Romans 10:13-17 says, For “everyone who calls on the name of the Lord will be saved.” How then will they call on him in whom they have not believed? And how are they to believe in him of whom they have never heard? And how are they to hear without someone preaching? And how are they to preach unless they are sent? As it is written, “How beautiful are the feet of those who preach the good news!” But they have not all obeyed the gospel. For Isaiah says, “Lord, who has believed what he has heard from us?” So faith comes from hearing, and hearing through the word of Christ. Yes, God ultimately knows who he has chosen for salvation, but those people need to hear the gospel from God’s Word. It is the message of the Bible, the Word of Christ as verse 17 of Romans 10 called it that the Holy Spirit will use to bring that person to faith in Christ. God uses his people to bring that word – the Gospel – to those people that he has chosen to regenerate and redeem. If we are truly regenerated then we need to obey the Great commission as given in Matthew 28:19 to “Go therefore and make disciples of all nations” We who trust most in God’s sovereignty and divine choice in salvation should be the most fervent in sharing Christ without fear, knowing that it is not our wisdom or strength or ability or convincing arguments that will actually cause this person to turn to Christ, but only the work of the Holy Spirit in their life. Our doctrine of a salvation based solely on the work of God in Christ Jesus and nothing in ourselves should make us the most humble obedient followers of Christ who seek to tell others about that glorious gospel that has saved us from our sin.

One of the greatest Baptist Pastors to have ever lived Charles Hadden Spurgeon was extremely clear in his understanding of the Sovereignty of God and the doctrines of Grace. He said, *I have my own private opinion that there is no such thing as preaching Christ and Him crucified, unless we preach what nowadays is called Calvinism. It is a nickname to call it Calvinism; Calvinism is the gospel, and nothing else.* And although different accounts have him saying it in different ways, Spurgeon who clearly held to God’s unconditional election and full sovereignty also said, *“If God branded every elect person on his back; I would go around lifting shirttails to find out who was elect so I could win them to Christ.”* That should be our attitude as well! Let’s be firm in our theological understanding, but let’s be about the business of winning others to Christ knowing that it is not our efforts, but God’s that is ultimately doing the work. God chooses to work through you and I to accomplish his purpose of salvation and make humans aware of the good news of Jesus Christ. And his plan and purpose will happen, his call will be effective and effectual in all of those whom he has chosen to be his own. May God use us as his servants to share his message with those he brings into our path. Let’s pray.